

【有害鳥獣対策について】

先日私の地元で家のそばの山林を畑にして家庭菜園をされている方が、イノシシと鹿に家庭菜園を片っ端から台無しにされて、防護柵の申請をしました。

ところが、農家ではない、農地ではないということで申請は受理してもらえませんでした。

たしかに、農業振興の補助金なので、適用できないというのわかります。

ただ、私の地元では毎日普通にイノシシや鹿と出会うことができます。一緒に暮らしているといっても過言ではないかもしれません。**そんな中で今守らなければいけないのは、農地でも農業者でもなく、まず人ではありませんか？**

いまや補助金の交付要綱そのものが、実情にそぐわない部分があるとか言いようがありません。

くさかとしこの一言！

イノシシ・鹿については、もっと積極的な、抜本的な対策が必要なのではないでしょうか？

今や、備前など他の地域では、山ごと囲ってイノシシ・鹿を山から出さないようにする動きもみられます。

瀬戸内市のように、個人が自分の土地だけを囲っているようでは、到底たちうちできません。

瀬戸内市も、山ごと囲ってイノシシ・鹿を山から出さないような対策が、今求められているのではないのでしょうか？

このことを、粘り強く訴え続けていきたいと思えます。

【その他】

瀬戸内市のその他の行政課題について、ご報告します。

1つは、市民病院の問題。

市民病院は現在造成中ですが、8月には建設の入札が行われる予定です。

図書館が不調になった今、このままだと病院も同じ結果になる可能性がかなり高いのではないのでしょうか？

ぜひ、図書館の経験を活かして最善の準備をしてもらいたいものです。なんといっても病院は、マネージメントをいれてまですで見直しをしているのですから。

1つは、錦海塩田跡地活用のメガソーラーの問題。

施行協定と土地賃借契約書が結ばれましたが、それ以降何の報告もありません。

工事が始まる様子もありません。注意深く見守り、とにかく状況の説明を求めていきたいと思えます。

とっしん'S コラム

わたしが、長船に暮らすようになって変わったことは、食生活です。どうか変わったかって。それは、料理をつくる時にまず畑に行って、そこにできているものを食べる。そんな旬の食生活になったことです。

だから、夏に白菜を食べることも、冬になすびを食べることもありません。今は、毎日きゅうりとなすびとトマトといんげんと格闘中です。でもこれって、ものすごく贅沢な生活だと思いませんか？

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。



行政ニュース とっしん vol.5

本格的な夏がやって来ましたが、皆様にはお変わりございませんでしょうか？

辺りを見渡すと、田んぼがまるで緑のじゅうたんを敷き詰めたように、輝いています。私はこの景色が大好きです。本当にステキなところに暮らしていると、ひしひしと感じます。

皆様に市政へと送り出していただいて、丸一年が過ぎました。その間常に、皆様の声を市政に届けていきたい、その思いでやってきました。その思いは、今もこれからも変わることはありません。

まだまだ未熟者で、なかなか皆様のお役にたてるどころまで行きませんが、これからも常に皆様の声に耳を傾け、訴えていきたいと思っております。

引き続き力強いご支援の程、よろしく願い申し上げます。

これから、ますます暑い日が続きますが、皆様にはどうか無理をなさらず、お体ご自愛ください。

今回の私の一般質問は

- ・ごみの分別区分の統一について
 - ・有害鳥獣対策について
 - ・図書館、公民館行政の今後について
- を取り上げさせていただきました。

【ごみの分別区分の統一について】

4月から家庭ごみの分別区分が統一されました。

その他プラスチックの回収に伴い、燃やすごみの大幅な減量につながっています。

しかし、予想以上のその他プラスチックの量に市民の間からは、

『月2回の回収では家庭内で場所をとってどうしようもない』

との声を本当にたくさん聞きます。

そこで今回、その他プラスチックの回収を月2回から毎週にすべきではないかということ、追求しました。

この大幅な減量の勝因は何かと問いただしたところ、ひとえに市民の努力の賜物と頭の下がる思いだと返答がありました。

そうです。本当に市民は頑張っています。

私の家では、ゴミ袋を大から小に変えました。部屋には、燃やすごみ・雑紙・その他プラスチックの3つのゴミ箱があります。

これは私の家に限ったことではありません。友達の家でも、近所の家でも同じ光景です。

2014年6月11日 山陽新聞 東備版に掲載されました。

「ごみ分別」その他プラスチック
回収月2回で据え置き
『燃やすごみ』の減量に役立っている『その他プラスチック』の分別回収について、2014年度中は、月2回の回収頻度のまま据え置く考えを示した。
日下俊子氏が住民に切実な要望があるとして毎週集めるよう提案したのに対し、松尾雅行市民生活部長が答えた。
環境衛生委員が月の半分以上、ごみステーションで回収コンテナの準備や清掃に当たる中、さらに負担が増すことに『了解が得られるか』が一つの課題』と指摘。
毎週回収すれば業者への回収委託料が784万円増える事情にも触れ、『慎重に検討し、適当となれば15年度から導入を考える』と説明した。

平成26年7月28日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273

瀬戸内市長船町磯上569

TEL/FAX 0869-26-6420

携帯TEL 090-5702-8336

ホームページ

<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

一人一日当たりのごみの量

	4月 (g)	減量率 (%)	5月 (g)	減量率 (%)
牛窓	651	12.6	666	10.6
邑久	707	5.1	713	4.3
長船	528	29.1	531	28.7
市内全体	637	14.5	643	13.7

※一人一日当たりのごみの基準値を745gとして減量率を計算しています。

その他プラスチック・ペットボトルの回収量

	4月 (トン)	5月 (トン)
牛窓	3.3	3.5
邑久	5.3	8.2
長船	4.6	5.5
市内全体	13.2	17.2

くさかとしこの一言！

市民の努力に報いるべきでは！、市民の声に耳を傾けるべきでは！、市民の願いに応えるべきでは！

と訴えましたが、

- 環境衛生委員さんの負担の問題
- 784万円の追加の収集委託料が必要になる問題

を理由に、必要であれば来年度から導入するとの回答でした。

このゴミ減量に対する盛り上がりを一時的で終わらせるのではなく、いっそうの減量に向けて努力するというのであれば、その他プラスチックの回収については月2回ではなく、毎週にすべきです。

燃やすゴミの収集回数を減らしてでも、その他プラスチックの収集を毎週にすべきです。粘り強く、訴え続けたいと思います。

【図書館・公民館行政の今後について】

市内図書館・図書室の昨年度の利用実績と今後の目標人数を尋ねました。

	H25年度実績		今後の目標	
	貸出冊数 (冊)	利用人数 (人)	貸出冊数 (冊)	利用人数 (人)
牛窓	33,687	7,444		
邑久	75,117	20,871		
長船	36,138	6,549		
市内全体	144,942	34,864	390,000	156,000

私は3月議会まで、新図書館の建設については縮小を訴え続けてきました。

しかし、建設が決まった今、できるからには充実したものにしていただきたい、市民が誇りに思えるものにしていただきたいと、そう思います。

しかし、残念なことに先日、新図書館建設の入札が行われ、**不調**(契約不成立)という結果に終わってしまいました。

今のままでは、当初の計画のH27年3月完成はあり得ません。

今のままの予算では、今の計画の新図書館ができることはありません。

- ・現在の予算で何かを先延ばしにするか、後回しにするか。
- ・現在の予算で設計に手を加え、縮小するか。
- ・現在の設計で、予算を追加するか。

今回の不調の原因をしっかりと分析し、今後の対応を慎重に考えてもらわないといけません。

しっかりと追求し、これ以上市民にしわ寄せがいかないようにしないといけません。

くさかとしこの主張！

【新図書館の開館と同時に、長船の図書室を整備する！！】という約束について、追求しました。

長船の図書室は、公民館と同じ場所に置くべきです。

長船の公民館は、私が耳にする限り、今の場所に整備して欲しいとの声をたくさん聞きます。

長船の公民館は耐震のない建物ですが、地元の人たちは避難所として頼りにしている建物です。位置的にも長船の中央に位置してあつ場所にあることに意義があると思っています。

長船の公民館は、一刻も早く耐震化をするべきです。そして、その中に図書室を整備すべきです。

長船の図書室については、新図書館の開館に合わせて整備するとの約束をいただいています。それだったら、そろそろ長船の図書室について、はっきりとした方向性が示されるべきだと考えます。

このことについては、しつこいと言われようとも、ずっと追求し続けるつもりです。皆様の意見・想いをぜひお聞かせください。

参考に今回の私の一般質問に対する教育長の答弁を、お聞きください。

『例えばですよ、長船の公民館が全くさらの状態です。新しくなることを長船の方がのぞんでないのかということになれば、話は別だと思えますね。今の古いままの公民館をそのまま残して耐震化するのと、架空の話ですが、新しい公民館をつくれますといったとき、長船の方々はどっちがいいとおっしゃるのか、さらに新しい公民館ができないのだとすれば、残った選択肢の中でどれかと、その中でベストを選んでいくのが我々行政だと思うんです。』

とっしんの井戸端会議！

※わたしのまわりでの、会話の一部です。 あしからず……

とっしん 『図書館の不調って、一大事！』

A 『これから、どうするのかな。』

B 『これ以上の、予算追加は許せん！』

C 『よう考えてもらわんといけんよなあ。』

とっしん 『予算を上げるゆうても、無限大に増やすわけにはいかんから。一度決めた予算の中で収めてもらわんといけんと思う。』

C 『そりゃあ、そうじゃわあ〜』

※皆さんはどのように、考えられるでしょうか？
ぜひ、どしどしご意見をお聞かせください。

